

太陽光パネルリサイクルの実態

～公開資料による独自調査と分析事例～

太陽光パネルの廃棄・リサイクルを取り巻く背景

2012年に導入された固定買取価格制度(FIT制度)により、全国で急速に太陽光発電設備の導入が進む一方で、地域社会や環境との調和など、再生可能エネルギーの持続的な普及に向けた課題も顕在化しています。

これらの太陽光パネルは将来的に撤去・廃棄が懸念されており、最新の推計によれば2030年代半ばから増加し、最大50万t/年程度まで達すると見込まれています。大量廃棄への対応に向けて2026年6月に「太陽電池廃棄物の再資源化等の推進に関する法律」が公布され、今後リサイクルに向けた取組みが加速するが期待されています。

行政や研究機関、民間企業などにより技術開発が行われており、リサイクル環境の構築が全国で進められる一方で、これらの実態や最新情勢はメディアなどでは網羅的に報じられておらず、SNSを始めとして古い情報や一部では誤った情報も氾濫しています。

本レポートの特徴

本レポートでは、太陽光パネルリサイクルの総合情報サイト「PVリサイクル.com®」で発信している情報等を整理し、各種の公開情報やデータを基にした分析事例の紹介、これらの事実から浮かび上がる課題と対策を提案しています。

【本書の特徴】

太陽光パネルのリサイクルに関する実態と課題の本質を、体系的に把握できる内容となっています。

- ◆太陽光パネルのリサイクルに関する「最新情報」を「網羅的」に紹介
- ◆時系列や関連性などを理解できる内容構成
- ◆豊富な図表や分析事例、添付資料、情報源(引用元)の紹介

【こんなお困りごとを解決】

- ◆網羅された最新情報、時系列的に整理された情報を入手したい方
- ◆情報収集に時間や労力をかけられない方
- ◆セミナーや展示会では、似た様な情報しか得られないと感じている方
- ◆自分で市場分析を実施したい方

内容構成

はじめに

1章 太陽光パネルのリサイクルに関する実態

- 1.1 太陽光発電設備の導入実績と将来の導入目標
- 1.2 将来の排出量予測と市場規模推計
- 1.3 使用済太陽光パネルの排出に関する実態調査、リユースパネル市場の概観
- 1.4 国・自治体による取組みの全体像
- 1.5 太陽光パネルリサイクルに関連する法律、成立の経緯
- 1.6 省庁・研究機関による取組み
- 1.7 地方自治体による太陽光パネルのリサイクルに関する取組み
- 1.8 企業の動向～リサイクル技術・開発動向、リサイクル施設の導入状況～

2章 太陽光パネルの含有物質、環境への影響

- 2.1 太陽光パネルの構造・含有物質
- 2.2 太陽光パネルのガラスリサイクル
- 2.3 太陽光発電の資源利用量と環境への影響

3章 FIT認定情報による各種分析

- 3.1 公開されているFIT認定情報の活用
- 3.2 太陽光発電設備の導入状況と排出量推計
- 3.3 FITによる太陽光発電の導入状況の分析
- 3.4 将来の廃棄・リサイクル市場規模の推計

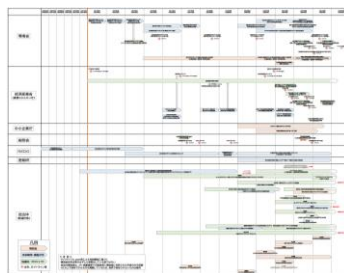
4章 地域別に見る分析事例

- 4.1 処理施設の必要数と立地がCO2排出量に与える影響～三重県の実例～
- 4.2 処理施設の立地検討①～福島県の実例～
- 4.3 処理施設の立地検討②～北海道の実例～
- 4.4 南海トラフ地震での津波浸水想定エリアの太陽光発電設備

5章 課題の整理とブレイン・ストーミング

あとがき

分析事例サンプル



基本情報／ご購入方法

発刊日 第2版 2026年9月28日(改訂版)
商品形態 本文:94頁(表紙等含む)、A4/A3サイズ、PDF形式
商品番号 MKP-008v2

販売価格 定価:36,300円(税込)
購入方法 ECサイトでの販売
<https://mk-and-partners.stores.jp/>



その他詳細は、WEBサイトからご確認ください
<https://www.pv-recycle.com/report-v2>

問合せ先 PVリサイクル.com®
info@pv-recycle.com
<https://www.pv-recycle.com/>